

目 次

はじめに
例 言

第Ⅰ章 保存管理計画の目的と策定に至る沿革	1
第1節 目的	1
1 名勝の指定説明	1
2 名勝の指定範囲	3
3 保存管理計画策定の目的	5
4 基本方針	5
第2節 策定組織	6
1 策定委員会の構成	6
2 策定委員会開催の経過	7
第3節 沿革	7
1 名勝の指定に至る沿革	7
2 保存管理計画策定の沿革	8
第Ⅱ章 名勝の概要と構成要素	13
第1節 概要	13
1 自然的環境	13
2 歴史的環境	14
3 社会的環境	16
4 周辺環境	18
第2節 名勝二見浦の本質的価値	19
第3節 構成要素	19
1 構成要素の樹形図と構成要素等一覧	19
2 名勝を構成する要素	27
3 名勝の周辺環境を構成する要素	46
第Ⅲ章 保存と管理	93
第1節 地区の設定とその特性	93
第2節 保存管理の方法	106
1 立石崎地区	106
2 二見浦地区	110
3 御塩殿地区	115
4 音無山地区	117
5 賓日館地区	120
第3節 周辺環境の保存管理	122
1 三重県名勝指定地包含地区	123
2 景観計画区域重点地区（無重複エリア）	123
3 名勝追加指定検討地区	123
4 広域周辺地区（西・溝口・松下・今一色地区）	124
第4節 現状変更等の取扱	124
1 現状変更等の考え方	124
2 現状変更等の取扱基準	127
第Ⅳ章 保存管理計画における整備と活用及び運営	136
第1節 整備活用の基本的な考え方	136
1 名勝説明板の設置とルートづくり	136
2 ガイダンス施設の整備と情報提供	136
第2節 運営及び体制整備	137
1 運営組織の設置	137
2 行政機関の役割	137
3 地域住民・地権者・民間団体等関係者との連携	137
第3節 今後の課題	139
1 名勝追加指定等の方向性	139
2 三重県指定名勝の方向性	139
3 意識啓発のための企画の推進	139
〈資料編〉	140
〈関係法令編〉	160